

生物資源を活用した地域創生研究部会シンポジウム 「生物資源活用の世界展開 ～グローバルバイオテクノロジー～」

主催 日本生物工学会 グローカルバイオ研究部会
共催 大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻生物工学コース

生物工学の切り口で地域の課題をグローバルに考える、グローバルバイオをシンポジウムを開催いたします。今回はSATREPS プロジェクトをはじめ、地域から世界に広がる生物資源の活用事例を紹介していただきます。

日時： 2017年 12月 4日（月） 13:30～17:30
場所： 大阪大学吹田キャンパス C3棟メモリアルホール
(大阪府吹田市山田丘2-1)

講演会

13:30～13:35 はじめに

13:40～14:30

礒田博子 筑波大学北アフリカ研究センター・生命環境系 教授
「地中海食薬資源の機能解析と有効利用」

14:30～15:20

荻野千秋 神戸大学大学院工学研究科 教授
「インドネシアにおけるバイオリファイナリーの社会実装戦略」

15:20～15:30 休憩

15:30～16:05

浅田元子 徳島大学生物資源産業学部 講師
「徳島県産間伐材を有効利用するための総合プロセス開発」

16:05～16:40

岡澤敦司 大阪府立大学 准教授
「根寄生雑草による被害の克服を目指すスーダンとの共同研究」

16:40～17:10

古賀雄一 大阪大学大学院工学研究科 准教授
「生物資源を活用したグローバルバイオ研究事例」

交流会

17:30～19:30 ラ・シェーナ (交流会参加費は5000円)

参加： **無料** ※氏名、ご所属、連絡先、交流会参加の有無を下記までご連絡ください。
(当日参加も可能ですが、人数把握のためご協力お願いします)

申込： 大阪大学 古賀雄一 kogay@mls.eng.osaka-u.ac.jp